

平成29年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	4. 岩富・寺崎線道路改良事業 (市道I-23号線)
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	補助	計画	0	0	0	実施計画	第5章	住環境が整備された住みやすいまちづくり	514,200
							基本施策3	交通環境の整備	平成28年度 15,115
									平成29年度 193,694
									平成30年度 162,953
							施策1	安心・快適な道路環境の維持管理を行います	平成31年度 142,438
								平成32年度 0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	156,050	
本年度当初査定額	155,980	179,040

財源内訳	国庫支出金	地方債				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				156,050	△156,050
本年度当初査定額	89,880	66,100				0	23,060

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 用地測量委託、道路等境界確定箇所杭設置、登記委託料、物件調査、補償費、用地買収、印紙代、説明会雑費</p>	<p>(事業の目的) 主要幹線道路である岩富・寺崎線を延伸整備することにより、市内と国道51号の交通アクセスの向上を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 市の南北幹線道路である岩富・寺崎線の延伸整備により、交通アクセスの向上を図り、市民生活の利便性、産業振興などが得られます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 用地測量の際、民境界、道路境界が確定しないと、買収面積等の確定ができず、用地買収に着手できないという問題点があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 平成28年度は用地測量のみでしたが、平成29年度からは、用地測量と用地買収を共に行います。</p>	<p>(見積についての特記事項) 不動産登記法の改正により、買収地のみでなく、その残地をも測量して境界や面積を確定し、図面を作製する必要があることから、測量面積が広大になり、その分の費用が加算されることとなります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
11	40	10	30
13	49,000	15,100	33,900
17	55,000	0	55,000
22	75,000	0	75,000

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	14	02	05	01	01	00	社会資本整備総合交付金	89,880	89,880	5,800	84,080
	21	01	04	01	02	00	幹線道路整備事業債	66,170	66,100	4,200	61,900
差引一般財源								△156,050	23,060	△10,000	33,060